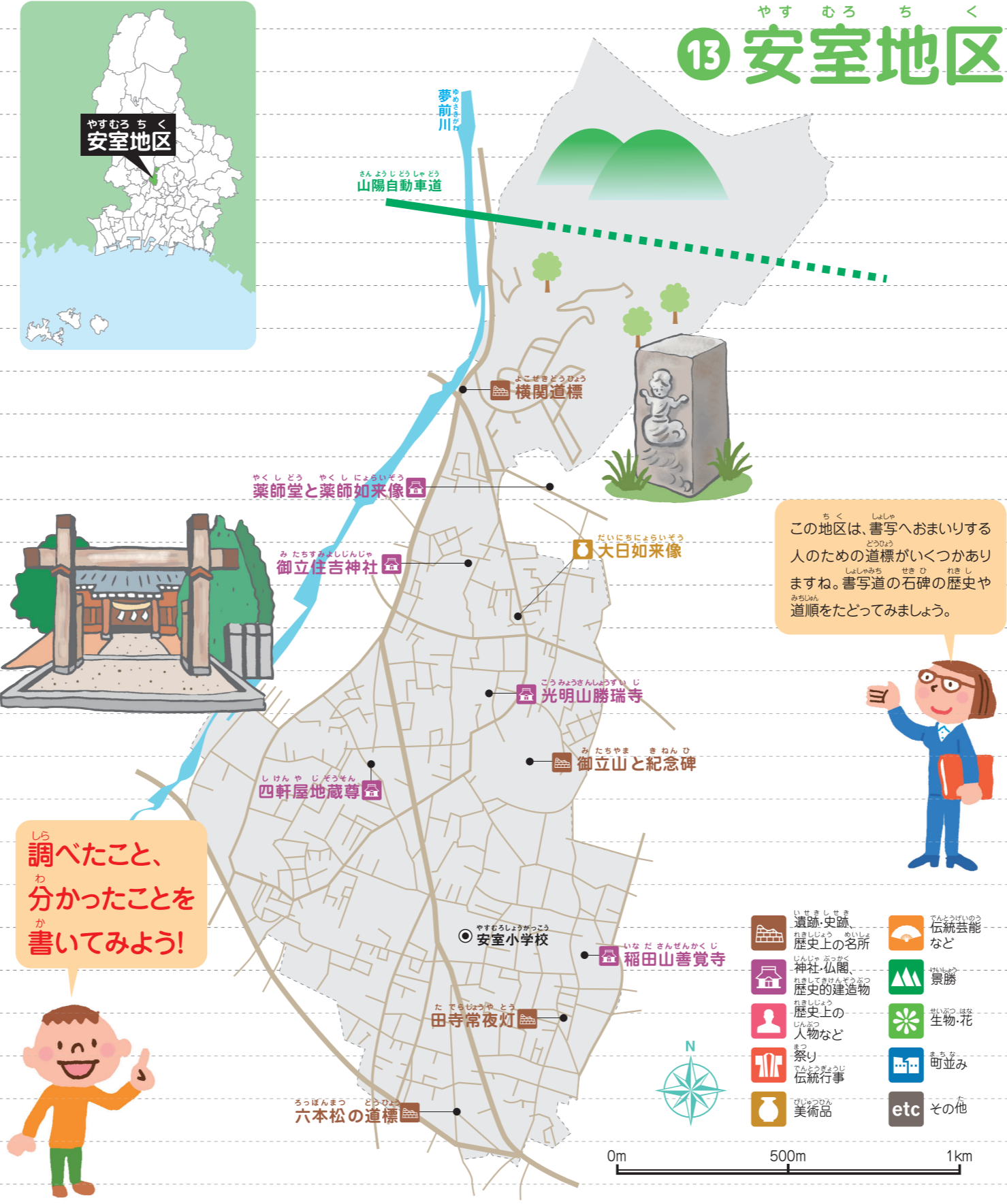
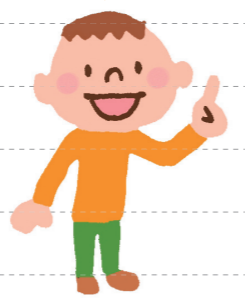


やすむろちく 13 安室地区



しらべたこと、わかったことを書いてみよう!



この地区は、書写へおまいりする人のための道標がいくつかありますね。書写道の石碑の歴史や道順をたどってみましょう。



稲田山善覚寺
 いなださんぜんかくじ
 赤松氏の子孫の稲田備中守善教の子も主馬之介義信は、書写山のふもとに一萬石の領地を持っていましたが、理由があって出家しました。書写山で修行したあと、滋賀県の坂本に小さな庵を建てて仏教の勉強をしました。その後、播磨に帰って田寺村善覚寺というお寺を建てたと伝えられています。

行った日

光明山勝瑞寺
 こうみょうざんしょうずいじ
 勝瑞寺というお寺の名前は、浄土真宗東本願寺の教如上人というお坊さんからいただいたものと伝わっています。この寺の鐘は明応6年(1497)に野里の鋳物師だった藤原勝久・宗久が廣峯神社の鐘としてつくったもので、寛政6年(1794)に勝瑞寺に移されました。

行った日

四軒屋地蔵尊
 しけんやじぞうぜん
 寛保2年(1742)の「飾西郡御立村明細帳」には、「鹿谷道」と「書写道」が分かれるところに石地蔵があると書かれています。この石地蔵を乗せている台の正面には「左志よしや道、右かやみちとみたみち」と彫られていて、人々が行き来する道の道標だったことが分かります。

行った日

大日如来像
 だいにちによらいぞう
 「大日さん」とよばれています。弘法大師・行者神変大菩薩・大日如来・大日聖不動明王の四つがまつられています。そのうち行者神変大菩薩・大日如来・大日聖不動明王の三つは、高取山の西南(今の唐立団地の西)にあったながおでら長尾寺にまつられていたといわれています。

行った日

田寺常夜灯
 たでらじょうやとう
 この灯籠は、日露戦争に行った人たちがささげたものです。横に戦争に行った11人の氏名と「大正三年初春建立」と彫られ、正面には「真輝」という文字が彫られています。

行った日

御立住吉神社
 みたちずみよしじんじや
 長保4年(1002)に花山法皇が書写山を訪れた時、国の役人だった小野道忠朝臣と播磨宿禰巨智延昌たちが案内しましたが、途中で雨が激しくふってきてこの場所に足止めされてしまいました。そのためにこの場所を御館といひ、住吉大神をおまつりました。

行った日

御立山と記念碑
 みたちやま きねんび
 『播磨国風土記』という本には、「応神天皇がこの丘に立って地形を見られた」と書かれています。このことから、「オオタチガオカ」と名づけられ、御立山といわれるようになりました。前山ともよばれています。高さ70mの丘です。

行った日

薬師堂と薬師如来像
 やくしどう やくしによらいぞう
 薬師如来像は、木でつくられた高さ約72cmの像です。郷土の歴史を研究してきた大貫繁次先生は、「室町時代中ごろにつくられたもの」といっています。この薬師如来像は昔、高取山の西南(今の唐立団地の西)にあった長尾寺にまつられていたといわれています。

行った日

横関道標
 よこせきどうひょう
 横関橋の東の端にあります。書写山へおまいりする人のために建てられた道標です。上の方には両手を広げて南を向いた観音さまが彫られ、左手が指し示す下に「ほつけさん・ひろみね山 道」、右手が指し示す下には「しよしや山 道」と彫られています。

行った日

六本松の道標
 ろっぽんまつ どうひょう
 この道標の北側の正面には「左姫路宿屋町江にしろごちゅうみぎがわみぎくまきくちょうめみち二十五丁」、右側には「右車崎六丁目道」、左側には「従は書写山江二十丁」と彫られています。南側の面には「文久2年(1862)とほししよしや山 道」と彫られています。昔から書写道や鹿谷道につながっている古い道です。

行った日